



※保護者の皆様、先日はPTA 総会へのご参加ありがとうございました。

社会に目を向けよう

～キャリア学習のスタートにあたって～

◆高校入学したばかりなのに、もう進路…

1年生にはこんな感想が持たれそうです。しかし、大事を成し遂げるのに準備が早すぎることはありません。みなさん自身の進路選択は、まさに一生の大事です。長い人生の一部である大学受験に限っても、準備が早すぎることはありません。幼小中学校から“お受験”と“コース制”の中にいる全国の高校生たちと比較すれば、3年間の準備期間は反対に短い方かもしれません。

◆上級学校の選択は、その後の人生 40 年間を規定する

さて、進路学習（キャリア学習）を通じて進学先を考えることはあなたの生き方を考えることに他なりません。勤労は憲法が規定する国民の三大義務のひとつであり、進学した先にもかならず就労する時が来ます。しかし、仕事は生活の糧としての収入だけでなく「生きがい」や「やりがい」といった自己実現の一つの姿です。就職先によって賃金、職種、就業形態、勤務地が決まることはもちろん、上司、同僚、時には生涯の伴侶など人間的な繋がりが紡がれて広がっていきます。上級学校選択は直接的にも間接的にも仕事に結びつくため、学校選択は人生そのものを選ぶことと言っても過言ではありません。なお、どんな仕事にも尊い意義があり、様々なカタチで人の役に立っているからこそ職業に貴賤はありません。

◆“自分”は変わっていくもの

以前には「青い鳥症候群」や「自分探し症候群」という言葉が流行りました。どちらも、ここではないどこかに“本当の自分の姿”があると信じ込み、それをいつまでも追い求める若者の姿を示しています。しかし誰もが社会のなかにあり、他者との相互作用の中にしか存在できません。じつは「自己実現するぞ！」などと自分中心に息巻いてみても、空しく時間だけが過ぎていくのではないかと思います。また、あなたの経験と学習によって「興味や適性は変化する」＝「進路希望も変化する」ものです。簡単に「ワタシって〇〇なヒト」なんて自分を決めつけるのは早計であり、自己の可能性を狭めてしまいます。人間はより良く変わることができる、それこそが成長であり、そのためにキャリア学習があります。

◆自分で調べ、経験し、知って、考え、判断し、そして歩み出すこと

高校での進路選択は、半年後の「2年次文理選択」「3年次類型選択」が大きな分岐点となります。3年生になると、本校ではいわゆる受験勉強を優先せざるをえません。1, 2年生の時にこそ、積極的に行動し挑戦すること、また多くの読書をすることを意識し実行してください。今日から進路情報を集めつつ“意識的な経験を通じて自分の適性や希望を自問自答する”こと。そして希望実現には、どのような努力と学習が必要なのか明らかにしましょう。

6月の目標

1年生 多忙な高校生活の中でも学習時間を確保しよう。

2年生 大会を終え気持ちを切り替え、夏休みの準備を始めよう。

県大会から暁峰祭（6/30~7/4）まで超多忙な6月。カレンダー上には土日以外の休日がなく、そこに行事も目白押しです。しかし、期末考査まではすでに2週間を切っており、悠長にではありません。自分の生活時間を管理し、学習を本分とする時間の使い方を確立することが、1、2年生ともに最大の課題です。

◆教育実習の終了

5/24（月）から始まった教育実習が終了となります。先輩方から講演やHRを通して、有意義な高校生活の過ごし方を教えていただきました。裏面にメッセージを掲載してあります。お忙しいなか寄稿していただき、ありがとうございました。

◆県総体・北信越総体

県大会お疲れ様でした。今後は多くの班活で1,2年生が主体となって新たに活動が始まります。また、3年生が北信越大会まで出場する班活では、自分の出来る事を精一杯頑張りましょう。

◆エイビ進学ナビ「大学・短大・専門学校 進学相談会」

…6/15（水）14:30~18:30（ビッグハット 長野市若里 3-22-2）

信州大学を初めとした県内外の大学・短大・専門学校の進学相談会が開催されます。芸術鑑賞の後にぜひ参加してみたいかがでしょう。

◆1学期期末考査…6/21（火）~24（金）

きちんとした学習計画を立て、学習方法を身に付けることが大切です。教科担当や担任の先生方のアドバイスをもとに、1学期の成績を気持ちよく締めくくりましょう。テスト1週間前から班活動や暁峰祭準備は休止となります。

◆「夏休み準備」は「キャリア学習・オープンキャンパス」の申し込み

6月から就業体験（東部中学校学習チューター）、ボランティア体験（サマーチャレンジプログラム）、大学のオープンキャンパスの受付が始まります。志望する人は早めの準備を。

今月の3年生

・6/11（土）進研共通マーク模試（ベネッセコーポレーション）

3年生ではほぼ毎月、のべ10回以上の模擬試験を受験します。模試の目的は、自分の学習状況を確認し今後に生かすことです。一方で大学受験は全国区（共通テスト試験受験者は約50万人！）です。客観的に実力を把握して希望実現の道筋を検討することが必須なためです。



6月	
1	水
2	木 A
3	金
4	土 ○
5	日 ○
県総合体育大会	
6	月 木曜授業
7	火 歯科検診[3]
8	水
9	木 P 歯科検診[2]
10	金 歯科検診[1]
11	土 ○ 進研共通マーク[3]
12	日 ○
13	月 授業公開
14	火 A
15	水 午前④⑤⑥ 芸術鑑賞(PM)
16	木
17	金
18	土 ○
19	日 ○
北信越大会	
20	月
21	火 ▲
22	水 ▲
期末考査	
23	木 ▲ AED講習会
24	金 ▲ 壮行会 暁峰祭LHR
25	土 ○
26	日 ○
27	月 ①②③④
28	火 ①②③④
29	水 ①②③④
暁峰祭 準備期間	
30	木 ● 第66回暁峰祭

教育実習生からのメッセージ

実習に励む教育実習生の先生方から、1, 2年生へメッセージをいただきました。お忙しい中をご協力いただき、ありがとうございました。充実した教育実習期間を通じて、素晴らしい教師になれることを祈念いたします。

さて、先輩方はみな、憧れの大学生です。せっかくの機会ですから、生徒の皆さんは、高校生活や大学での勉強や大学生活など、どんどん相談してみてください。

◆長野吉田高校のみなさんへ

千葉大学理学部化学科

こんにちは。私は吉田高校を卒業し千葉大学へと通っています。

高校時代の話をして。勉強に力を入れ始めたのは2年生のときでした。なぜ2年生になって急にやる気が出たのかは定かではありませんが、テストの学年順位をもっと上げたいというのが勉強のモチベーションでした。総合の学年順位を上げるためには、好きな教科以外についても点を取る必要があった（特に英語）ので、おのずと苦手も克服されていきました。3年生になってからは、模試で同じことをしていました。

何が言いたいかというと、モチベーションというのがとても大切だということです。それが何かというのは問いません。憧れの大学がある、あいつに勝ちたい、なんでも構いません。ただ、実現可能な範囲がいいかもしれません。

以上が高校時代を通して必要だと思ったことです。みなさんにも、本気になれる理由を見つけてほしいです。また、高校生活を楽しむことも忘れずに。応援しています。

◆私が後悔したこと

金沢大学理工学域 数物科学類数学コース

私は、高校3年になるまでどこの大学に行きたいとか、全く考えていませんでした。そもそも全国にどんな大学があるのかすら、知りませんでした。今になってそれをものすごく後悔しています。

私から伝えたいことの一つは、1, 2年生のころから、大学を調べて漠然とでいいから志望校を早めに持っておいてほしいということ。もう一つは、目の前のことに夢中になってほしいということ。今は班活動で忙しいと思うから、無理に勉強を頑張るよりも、授業を一生懸命頑張って、班活動も頑張って、早く寝る。これを大切にしてほしいです。メリハリをもって、目の前のことを頑張ってほしいです。もちろん時間、体力に余裕があるなら、目標をもって、授業の復習や、模試に向けた勉強を頑張ってください！！

◆長野吉田高校の皆さんへ

山梨学院大学スポーツ科学部スポーツ科学科

スポーツ科学部では、コーチング論やトレーニング論など、スポーツに関することを学んでおり、私は主に競技スポーツについての勉強をしながら、教員になるための勉強をしています。班活動に全力で取り組んだことが高校生活での一番の思い出です。

班活動引退後から本格的に受験勉強を始めました。今まで班活動に注いでいた熱量を、勉強に切り替えて行うことができました。しかし、一人で頑張るのには限界があります。わからない部分があったら、周りの先生や友達にどんどん頼ってください。わからないことを質問することは恥ずかしいことではありません。それから、適度な休息を必ず取るようにしま

しょう。受験勉強中に体調を崩してしまうと、その時間がとても無駄になってしまいます。自分の体調が一番ですので、無理をせず、勉強に励んでください。応援しています。

◆「努力をすること」

明星大学教育学部国語コース

こんにちは。みなさんは高校生活の様々な場面で沢山の努力をしていると思います。「努力は必ず報われる」という言葉がありますが、私は「努力したこと自体に意味がある」と考えています。たとえ望んだ結果に結び付かなくても、それまでどう頑張ったか、何を考えたかが大切でありそれが成長だと思います。

高校では様々な困難があると思います。私自身、苦しい事の方が多い高校生活でした。そんなときでも投げ出さずに、些細なことでも努力を続けてください。すぐに目に見える成果にならなくてもその後にきっと自分自身を支えるものになります。なので結果を焦らなくても大丈夫です。辛い時は一人で抱え込むのではなく友人や先生方を頼ってください。きっと手を差し伸べてくれます。自分自身を大切に充実した高校生活を送ってください。

◆進路の考え方について

大東文化大学文学部日本文学科

吉田高校の皆さん、こんにちは。突然ですが、皆さんは進路についてどの程度考えていますか。いつか決めなければいけない時がやってきます。その時にどのように決めますか。漠然と大学に行くものだ、とか何となく偏差値の高い大学に行くべきだ、と思っていないせんか。決めるのは自分だし、進学するのも自分です。でも方向性だけは「周りからどう見られるか」で決めていませんか。

大学は就職のために行く場所ではありません。自分でテーマを決めて専門的に取り組んでいく環境が大学です。なので、自分の人生のうちの4年間を費やしてもいいと思える分野に行くことをおすすめします。

興味のある分野を見つけることができずにいる人へアドバイスです。正直なんでもいいです。よく覚えているニュースの内容とか、気づいたら目で追っているものとか。それに関する学問は何かを調べてみてはいかかでしょうか。

◆長野吉田高校の皆さんへ

佛教大学歴史学部歴史文化学科

こんにちは。私は、大学で歴史文化について勉強しています。歴史文化には、「民俗文化」、「芸術文化」、「地域文化」の三領域に分かれています。私は、このうちの「民俗文化」を専攻し、神話伝承学の研究をしています。

私が、佛教大学を選択した理由は、初めこそ京都に住んでみたいからという安易な考えでしたが、高校での日本史の授業にどんどんと惹かれ、歴史の本場である京都で専門的な勉強がしたいと考えたからです。吉田高校は、授業時間が多い上に、部活や課題が多く休んでい暇がないと思います。当時の私も、毎日ヘトヘトで勉強をあまりしていませんでしたが、周りの友達と少しでも時間を見つけて学校に残って勉強をしたり、研究室にわからないことを聞きに行ったりするようになってから自然と家でも勉強の時間が増えていきました。無理をするのではなく、残りの高校生活を全力で楽しみながら、小さな事から始めて長期戦になる受験に打ち勝ってください。